



あゝ学舎よ夢多き



根室高校HP QRコード

【総務部】第3回学校評議員会（根室高校の明日を考える会）の開催

2月8日（木）、根室高校学校評議委員会（根室高校の明日を考える会）を開催しました。学校長より挨拶、その後、各分掌部長による本校の教育活動の報告、令和5年度学校評価について説明しました。その後、5名の委員の方々から、評価とともに、ご意見もいただきました。なお、主な説明内容は以下のとおりです。



○**学校長**より、学校の状況について、3年生は、2月1日から家庭学習期間に入りました。これから一般入試に向けて取り組んでいる生徒もあり、夢の実現に向けて粘り強く取り組んで欲しいと思います。1・2年生は、後期の期末考査が控えており、授業はもとより家庭学習など真剣に取り組んでいます。資格取得においては、複数名の生徒が英検準1級の筆記をクリアするなど、本校の学びによる成果も現れつつあります。令和6年度公立高校の入学選抜の倍率の公表があり、中卒者の減少により全道の地方都市は1倍をきる状況も見られます。本校においては、一定の出願者数の確保ができています。また、学校評価では全体としては一定の評価を頂いており、今後、より一層、魅力ある学校づくり努めて参ります。

○**総務部**より、新型コロナが5類に位置づけられ、以前の学校行事を精選しながら実施してきた。学校ホームページにアップしている学校通信、新聞や報道記事などで生徒達の多くの活躍を紹介してきた。

○**教務部**より、出願状況（1月31日現在）について、普通科は昨年度と同様な倍率。商業科・事務情報科は、昨年の出願者数とほぼ変わらないが、学科間の人数バランスが取れている。

○**生徒指導部**より、学校いじめ防止基本方針について、今年度修正、委員に新たにSCなど外部人材をメンバーに加えたり、LGBTなどの観点も追加している。いじめ認知件数15件、重大事態はない。

○**進路指導部**より、進路決定状況について、就職4割、進学6割。今年度も就職求人は多く、市内就職21名。進学は大学と専門学校進学者が同じ割合、大学共通テストは数十名が受験している。

○**学校評価**について、①カリキュラムマネジメントに係る領域では、授業や普段の学習で、努力している生徒が多く、学力の伸びが見られる状況である。②学校の魅力を伝える広報活動について、学校ホームページやポスターを工夫・改善した。今後、異校種連携など授業等でも関わりを持ちたい。③生徒、教職員、地域の評価は高いが、保護者の評価が低くなっている。学校が行っていること、生徒への指導や支援の状況について、今まで以上に、しっかりと伝えていく必要がある。④学校行事などについて、インターンシップなどの進路行事、各種講演など、自己を見つめたり、多様な考え方やを学ばせる機会となっている。⑤職場環境の領域においては、仕事とプライベート、オンとオフを切り替える意識を持つ職員も多くなってきた。

○質問・協議

① 先日、新聞記事に根室高校の防災教育の記事が掲載されていた。学校には防災棟の施設もあるため、災害時、根高生が防災リーダーとして活躍することを期待している。今後、多くの特技や資格を持って生徒など多様な生徒が入学することが考えられるので、どの生徒もいきいきと学校生活を送れるよう支援をしてほしい。



② 新型コロナ後の学校行事の復活は心配していたが、空白を感じなく、生徒達は楽しく活動している様子が伝わった。保護者にもこの様な活動を見せてあげたい。

③ スクールカウンセラーについての質問に対して、希望者がいれば毎月実施しており、いつでも相談したいことがあれば相談できる体制がある。

④ 学校祭での合唱では生徒が頑張っている姿が見られて良かった。今後、入試出願者数の減少は、中卒者数の減少もありやむを得ないことだが、今期は出願者数が上がってよかった。今年度の事ではないが、過去にインターンシップを受け入れた際、やる気の見られない様子があった。地域の仕事に魅力を感じて欲しいため、生徒への意識も高めてもらおうと企業側も受け入れやすい。

⑤ 生徒の年代に近い先生も多いが、生徒にとっては、今の時代にあった教育が可能である。不易流行のもと自由な発想で教育活動を行って欲しい。学校評価は今後の指針にはなるが、高・低が全てではない。学校が行っている活動の本質など、できる範囲でプロセスを明らかにしていくとよい。

【校内研修・探究活動】総合的な探究の時間に係る校内研修

2月16日（金）、次年度の探究活動に係る校内研修会を実施しました。本校職員32名と根室市教育委員会職員6名の参加がありました。

探究活動プロジェクトメンバーの本校教諭2名が説明を行いました。説明内容は、①総合的な探究の時間とは何か、②探究活動とは何か、③他校の視察研修（帯広三条、釧路湖陵）概要として、どのような内容や活動が行われていたか。④道内の大学入試における探究活動を活かした総合選抜の割合、⑤探究活動が進路活動にも繋がる事例（視察校の校長の話など）、⑥次年度の探究活動の概要（1年地域に係る探究、2年次地域も含め自己の興味関心に関する探究）でした。また、説明の中では活動においては根室市教育委員会職員の方々にも協力を願いたいとの話もあり、職員の方々もうなずきながら話を聞いてくれていました。



今後、本校職員と根室市教育委員会職員との連携・協働による探究活動が期待されるところです。

説明後、質疑応答がなされ、「1，2年の活動内容はどのようなものか」、「どのくらいの時間数で実施するのか」、「商業科の課題研究との違いは」など複数の質問があり、本校の先生方の探究活動への取組に係る意識の高さも感じられました。

次年度より、探究活動を司る新たな分掌「探究部」を立ち上げて、根室高校の探究活動がスタートします。現在、次年度に向けた具体的な活動計画が練られています。